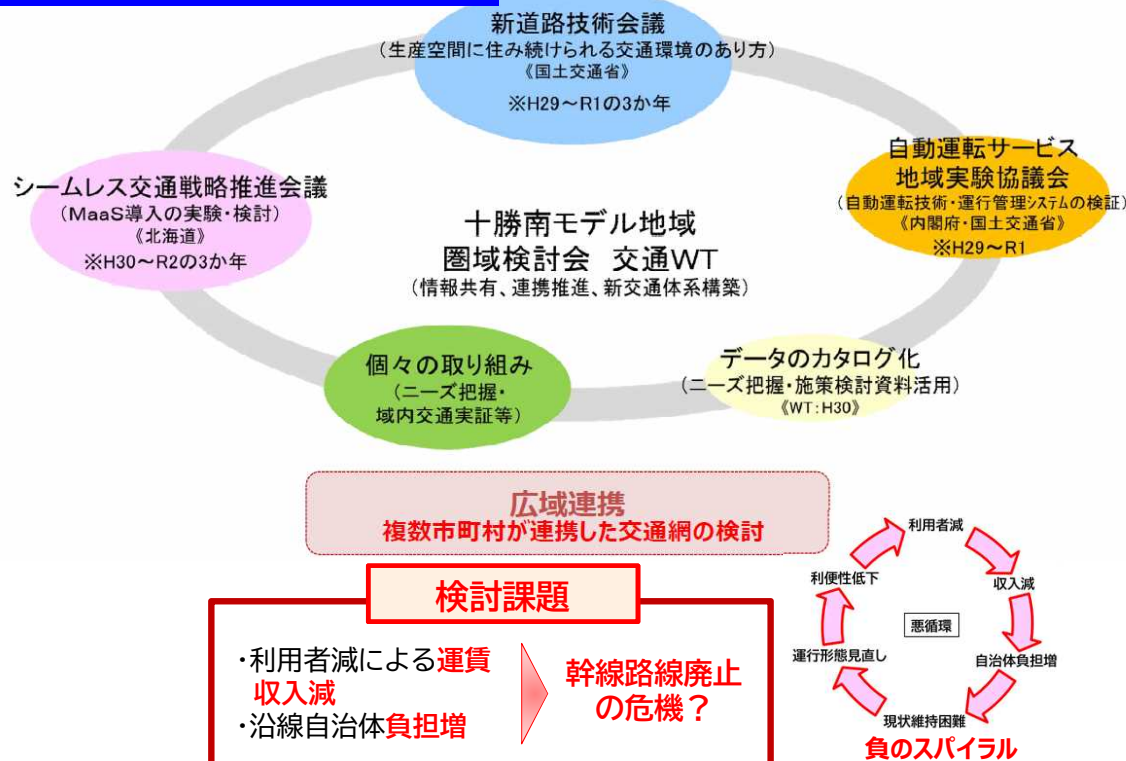


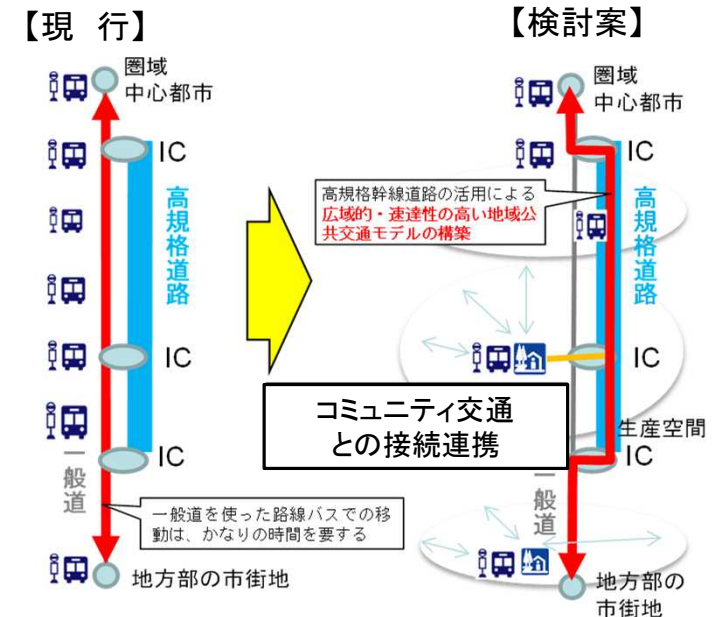
十勝南モデル地域圏域検討会 交通関係ワーキングチーム

(3)取組により期待される効果及び課題

令和4年度までの取組内容



■ 高規格道路利用による幹線バス効率化の検討イメージ



- ・MaaS導入による利用環境改善、利便性向上による運賃収入増
- ・路線見直しによる需要の掘り起こし 等

負のスパイラルからの脱却！

令和4年度までの取組から得られた課題(今後検討すべき事項)

- **幹線バス路線（帯広～広尾線）の維持に向けた検討**
⇒ 十勝バス広尾線をケーススタディーに、持続可能な公共交通網確立を検討
(現広尾線の運行の効率化に資するパターン検討、コミュニティ交通の実態把握、高規格道路の運行可能性検討、広尾線と各コミュニティバスの接続検討 等)
- **「地域公共交通計画」の策定促進**
⇒ 改正地域公共交通活性化再生法に基づき地方公共団体による地域公共交通計画（マスタープラン）の策定促進。
⇒ 地域の多様な輸送資源の連携・活用。

取組により期待される効果(目指す姿)

自治体

地域住民

観光客

地域の実情に応じた交通体系の実現

買い物・通院・通学などでの利用者増

→ **交通弱者を含む住民の足の確保**

→ **利用者増による公費負担の削減**

→ **外出機会の増加によるまちのにぎわい創出**

様々な交通機関の乗り継ぎがしやすい環境の構築

→ **利便性が高くストレスのない移動**

→ **交流の活発化、観光地の魅力向上**

生活者・観光客の移動利便性の確保

現在の生活空間にすみ続けられる環境づくり

